



昨年12月、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の山川理事長を迎えて、人工衛星など最新の宇宙テクノロジーや宇宙教育に関するシンポジウムを開催。大学時代からの親友、山口知事と対談し、佐賀の若い世代のさらなる活躍へ応援のメッセージをいただきました。(場所:県立宇宙科学館)



特集

先進のテクノロジーが未来の笑顔をつくる

人手不足や働き方改革など、企業が抱える様々な課題に対し、AIやIoTを活用した生産性向上などの、新たなビジネスが注目されています。県では、2018年に『産業スマート化センター』を開設し、県内でもAIやIoTを活用したビジネスが続々と生まれています。そこで今回は先進のテクノロジー分野で躍進する企業の取り組みを紹介します。

AI × 伝統工芸 スポーツ



株式会社 LIGHTz(ライツ)
佐賀ランドマーク長
こが しんいちろう
古賀 晋一郎 さん

取材協力

ライツはAIを使って、熟練者の思考の言語化に取り組んでいます。それぞれの分野で卓越した技能や経験を持つ人に「その時なぜそうしたのか」などをヒアリングし、熟練者がこれまで感覚的に行っていた動作を言葉にすることで、その考え方を誰でも共有できるようになります。それは同業者に新しい『気づき』を生み、子どもたちなど後継者の育成にもつながります。古賀さんは「人の心を動かすには理屈よりも、感動を生む熱意が大事。熟練者が持っているその熱意も言葉

にして残したいですね」と話します。昨年12月に始めた伝統工芸である有田焼の技術継承AI化に続き、サガン鳥栖とも提携し、フェルナンド・トーレス氏などの思考の言語化にも挑戦します。この取り組みは、トップアスリート育成を目指すSAGAスポーツピラミッド(SSP)構想においても大きな役割を担っています。さまざまな分野で未来を明るく灯すライツに今後も注目です!

子どもたちを対象に、性格や好きな色などからAIが分析し、振り分けたグループで交流するワークショップを行っています。



AI × 農業



株式会社 オプティム
佐賀本店リーダー
ほそみ じゅん
細見 純 さん

取材協力

佐賀大学構内に本店を構え、AI・IoTの分野で様々なサービスを展開するオプティム。そのサービスのひとつが先進のテクノロジーを使った『スマート農業』です。これまで多くの時間や労力が費やされていた田畑の見回りを、スマート農業ではドローンが行います!上空から田畑を撮影して病害虫がある区域などを画像で検知し、その箇所だけピンポイントにドローンで農薬を散布。特許も取得したこの技術で、田畑の全域に農薬を撒くよりも手間をかけずに農薬の使用量も劇的に減らすことが可能



現場を離れた経験豊富な世代に、端末を通し遠隔で指導してもらい構築も進んでいます。



になりました。また、稼げる農業を目指し、協力農家でとれたお米を『スマート米』として付加価値をつけて販売。減農薬のお米として人気を得ています。農業は、経験や技術が必要とされています。それらをAIが判断できるようにすることで、農業を始めやすくすることや、品質の高い農作物の収穫ができることをオプティムは目指します。ほかにも医療や水産業、建設業、災害地支援、振り込め詐欺防止など幅広い分野でAIを活用できないか研究中。「私たちが目指しているのは世界一早くAIを実用化することです。佐賀県のみならずのうちにAIを取り入れ、その技術を佐賀から世界へ発信したいです」と笑顔で語る細見さん。AI技術で佐賀の未来を創るオプティムの取り組みに期待が膨らみます。



農業生産法人株式会社イケマコ
えぐち まうじ いけだ たいし
江口 宏司さん 池田 大志さん

AI・IoT導入を支援

協力企業120社突破!

佐賀県産業スマート化センター

佐賀県産業スマート化センターでは、AIやIoTといった先進技術を活用した生産性の向上や新たなビジネス創出を支援しています。センターへの相談を通じて、AIとロボットを組み合わせた検査工程の自動化や、小売業でのAIによる需要予測、工場内のスマート化といった導入事例が多数生まれています。相談は随時受付中で、各種セミナーなども開催していますので、お気軽にお越しください。



AIとロボットを組み合わせた検査工程の自動化

佐賀市鍋島町八戸溝114(県工業技術センター生産技術棟内) TEL 0952-97-9120 info@saga-smart.jp
開館時間 9:00~17:00(土日祝、年末年始および保守日除く)

詳しくはホームページへ



※オプティムとイケマコは、ピンポイント農業散布栽培の実証実験などの技術連携を行い、安心・安全な大豆を栽培しています。